



2026年6月1日

各位

会社名 ミライアル株式会社
代表者名 代表取締役社長 兵部 匡俊
(コード 4238: 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 執行役員 CFO
経営企画・管理本部長 羽山 哲生
電話番号 03(3986)3782

財務上の特約が付されたシンジケートローン契約締結に関するお知らせ

当社は、本日2026年6月1日開催の取締役会において、株式会社三菱UFJ銀行をアレンジャー、株式会社みずほ銀行をジョイント・アレンジャーとするシンジケートローン契約を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本契約の目的

当社は一昨年、新たなステージでの長期ビジョンを実現する第3創業期に向けた土台作りの5年として、2028年度(2029年1月期)をターゲットとする5カ年の中期成長戦略2028を策定しました。これを踏まえ、前年度(2026年1月期)から企業価値向上に向けた新たな取り組みとして、更なる収益力強化を目指す「事業成長戦略」と市場からの要請に沿った「資本政策・財務戦略」の両輪を通じて、ROEとPERの向上を促進し、PBR1倍超を恒常的に達成するとともに、中長期的な企業価値の最大化を実現するための検討を進めてまいりました。

事業成長戦略については、2029年度以降の第3創業期に向けて、現在の主力事業以外の第2、第3の柱を構築して事業ポートフォリオを拡大・安定化させるため、時代に必要とされ、かつ新たな成長が期待される分野において強いブランドバリューを持つ企業に対し、先行投資としてのM&Aでキャッシュを配分し、異なる市場・技術・カルチャーを積極的にグループ内に取り入れることで、イノベーション創出や新規マーケット開拓を通じた新たなグループ価値創出につなげていくことを目指しており、本年4月30日、布谷船用計器工業株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役:兵部 匡俊、以下「布谷船用計器工業」)の発行済株式の全てを取得いたしました。

本契約は、布谷船用計器工業の発行済株式の取得のための当座貸越に基づく借入金の借換資金を資金用途としています。これにより、有利子負債を活用し、財務レバレッジを効かせた最適な資本構成への転換を図ります。

今後も、更なる事業成長に向けたキャッシュアロケーションとバランスシートマネジメントを行いながら、自律的に最適な資本構成を実現し、資本コストを逡減することで、ROEとPERの向上を目指してまいります。

2. シンジケートローン契約の概要

(1) 形式	タームローン
(2) 組成総額	1,900百万円
(3) 契約締結予定日	2026年6月9日
(4) 借入予定日	2026年6月12日
(5) 最終返済期日	2036年4月30日

(6) 適用金利	基準金利＋スプレッド
(7) 担保・保証	無担保・無保証
(8) 資金使途	布谷船用計器工業の発行済株式の取得のための当座貸越に基づく借入金の借換資金
(9) アレンジャー兼エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
(10) ジョイント・アレンジャー	株式会社みずほ銀行
(11) 参加金融機関	株式会社三菱UFJ銀行
	株式会社みずほ銀行
	株式会社三井住友銀行
	株式会社肥後銀行
(12) 財務制限条項	<p>1. 2027年1月期決算以降、各年度の決算期末日における連結純資産の部の金額を、直前の決算期又は2026年1月決算期末日における連結純資産のいずれか大きい方の75%以上に維持すること</p> <p>2. 2027年1月期決算以降、各年度の決算期および直前の決算期において、それぞれ2期連続して連結損益計算書上の経常損失を計上しないこと</p>

3. 今後の見通し

本件による2027年1月期の連結業績に与える影響は軽微です。今後、開示すべき事項が生じた際には速やかにお知らせいたします。

以 上